

ダイワ／フィデリティ 北米株式ファンド ーパラダイムシフトー

運用報告書（全体版） 第9期

（決算日 2022年3月18日）
（作成対象期間 2021年3月19日～2022年3月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国経済変革の恩恵を受ける北米の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2013年3月19日～2023年3月17日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ. フィデリティ・ダイワ・エ クイティ・シリーズ（適格機 関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネー・マザー ファンドの受益証券	
	ダイワ・マネー・ マザーファンド	本邦通貨表示の公社債	
組入制限	当ファンドの投資信託 証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の 30%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 （評価益を含みます。）等とし、原則として、基 準価額の水準等を勘案して分配金額を決定しま す。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配 を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

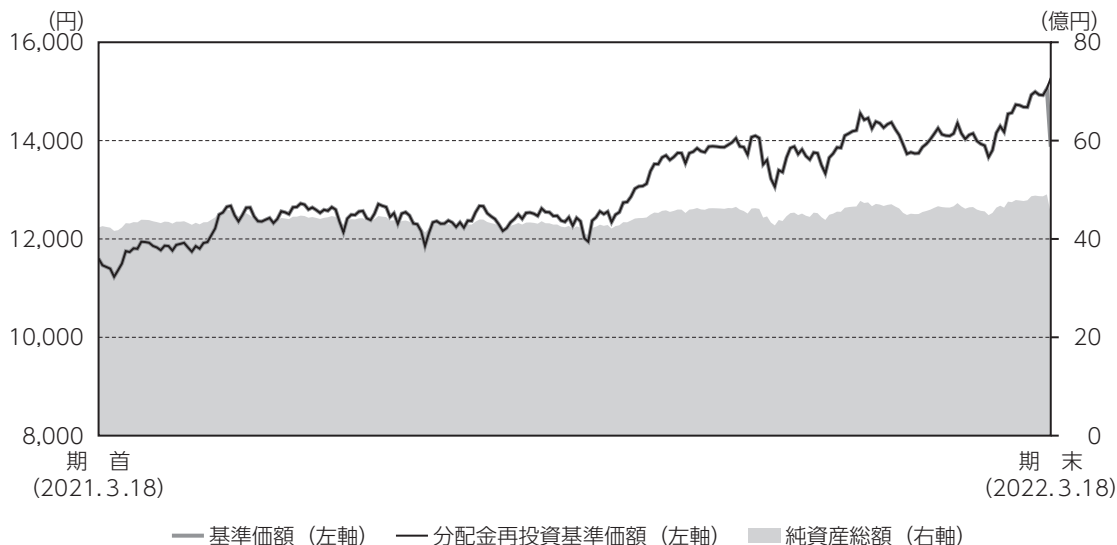
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金	期 騰 落 中 率			
5 期 末 (2018年 3 月 19 日)	円 10,615	円 0	% △ 3.6	% 99.4	% －	百万円 8,422	
6 期 末 (2019年 3 月 18 日)	11,098	150	6.0	99.5	－	6,647	
7 期 末 (2020年 3 月 18 日)	7,695	0	△30.7	99.5	－	3,689	
8 期 末 (2021年 3 月 18 日)	11,601	1,200	66.4	99.3	－	4,233	
9 期 末 (2022年 3 月 18 日)	13,876	1,400	31.7	99.2	－	4,518	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：11,601円

期末：13,876円（分配金1,400円）

騰落率：31.7%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、北米株式市場が上昇したことが主なプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準	価 額	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	公 社 組 入 比	債 率
		騰 落 率			
(期首) 2021年 3 月18日	円	%			%
	11,601	—	99.3		—
3 月末	11,809	1.8	98.6		—
4 月末	12,214	5.3	99.2		—
5 月末	12,541	8.1	99.6		—
6 月末	12,383	6.7	99.2		—
7 月末	12,375	6.7	99.0		—
8 月末	12,537	8.1	99.1		—
9 月末	12,556	8.2	99.4		—
10月末	13,745	18.5	99.0		—
11月末	13,606	17.3	99.0		—
12月末	14,190	22.3	99.0		—
2022年 1 月末	13,933	20.1	99.0		—
2 月末	14,157	22.0	99.2		—
(期末) 2022年 3 月18日	15,276	31.7	99.2		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.3.19～2022.3.18)

■北米株式市況

北米株式市場は上昇しました。

北米株式市況は、当作成期首から2021年8月にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み新規感染者数が減少したことや、大型経済対策が実現し堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、上昇しました。その後は、C P I（消費者物価指数）の上昇を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、年末にかけて株価は上昇基調を維持しました。2022年初めより当作成期末にかけては、米国の利上げ観測の高まりにより金利が上昇したことを嫌気したほか、ウクライナ情勢の緊迫化の影響を受け、下落しました。

■為替相場

米ドル円相場は上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2021年9月にかけて、新型コロナウイルスの状況や金融政策の動向を受け、横ばいで推移しました。2021年10月以降は、米国の利上げ観測の高まりや日米金融政策の方向性の違いを要因として円安方向に推移し、米ドル円相場は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ：フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）

■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

当ファンドでは、折々の局面で恩恵を受ける産業・企業を的確に把握し、個々の企業を丹念に調査し選別することにより、収益機会を追求してまいります。引き続き、エネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況などに留意しながら、徹底したボトムアップによる企業調査に基づき、中長期的にシェール革命の恩恵を受け成長することが期待される銘柄を厳選し、投資をしてまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.3.19～2022.3.18)

■当ファンド

当ファンドは、フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズとダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券を高位に組み入れました。

■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

シェール革命の経済波及効果から期待される米国経済の変革に着目し、マクロ経済や産業セクターの分析と、個別企業の成長性や財務内容等の調査・分析を活用した「ボトムアップ・アプローチ」に基づく個別銘柄の選別を行いました。当作成期末の組入上位業種は、資本財・サービスやエネルギーなどのセクターでした。個別銘柄では、シェブロンやユニオン・パシフィックなどでした。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年3月19日	～2022年3月18日
当期分配金（税込み）（円）	1,400	
対基準価額比率（％）	9.16	
当期の収益（円）	1,400	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	3,876	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 3,591.03
(c) 収益調整金	739.02
(d) 分配準備積立金	946.11
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	5,276.17
(f) 分配金	1,400.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,876.17

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

当ファンドでは、折々の局面で恩恵を受ける産業・企業を的確に把握し、個々の企業を丹念に調査し選別することにより、収益機会を追求してまいります。引き続き、エネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況などに留意しながら、徹底したボトムアップによる企業調査に基づき、中長期的にシェール革命の恩恵を受け成長することが期待される銘柄を厳選し、投資をしてまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2021.3.19～2022.3.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	161円	1.237%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,035円です。
(投 信 会 社)	(50)	(0.385)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(108)	(0.825)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	162	1.246	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

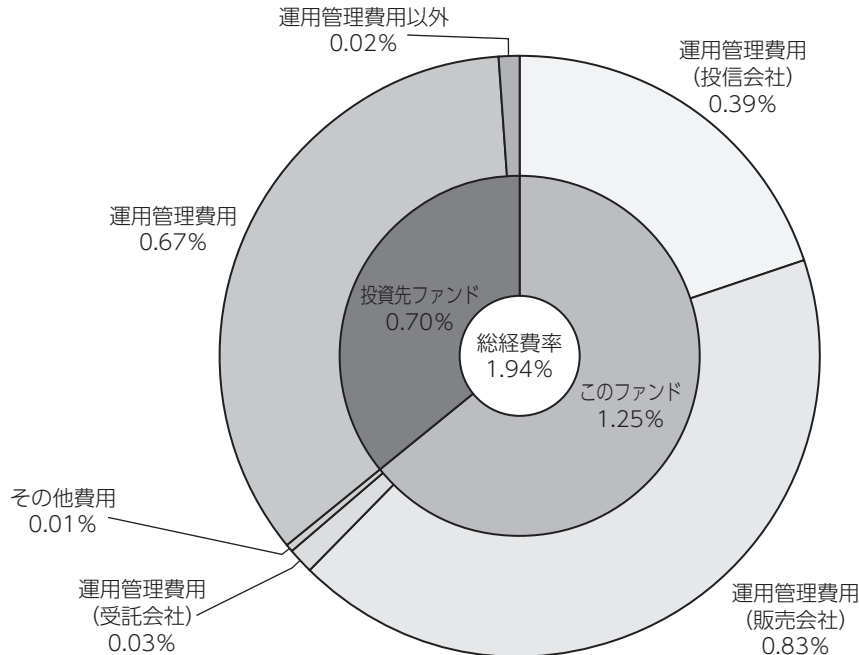
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.94%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注1）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年3月19日から2022年3月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ (適格機関投資家専用)	25,058.308	54,000	509,932.614	1,077,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ (適格機関投資家専用)	千口 1,896,747.734	千円 4,482,773	% 99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1,988	1,988	2,021

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,482,773	89.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	2,021	0.0
コール・ローン等、その他	530,638	10.6
投資信託財産総額	5,015,433	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,015,433,613円
コール・ローン等	530,638,515
投資信託受益証券(評価額)	4,482,773,594
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	2,021,504
(B) 負債	497,056,376
未払収益分配金	455,870,946
未払解約金	13,470,300
未払信託報酬	27,528,827
その他未払費用	186,303
(C) 純資産総額(A－B)	4,518,377,237
元本	3,256,221,044
次期繰越損益金	1,262,156,193
(D) 受益権総口数	3,256,221,044口
1万口当り基準価額(C／D)	13,876円

* 期首における元本額は3,649,279,810円、当作成期間中における追加設定元本額は195,732,373円、同解約元本額は588,791,139円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,876円です。

■損益の状況

当期 自2021年3月19日 至2022年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 12,338円
受取利息	1,055
支払利息	△ 13,393
(B) 有価証券売買損益	1,224,798,703
売買益	1,303,603,389
売買損	△ 78,804,686
(C) 信託報酬等	△ 55,467,617
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,169,318,748
(E) 前期繰越損益金	308,065,023
(F) 追加信託差損益金	240,643,368
(配当等相当額)	(102,448,998)
(売買損益相当額)	(138,194,370)
(G) 合計(D + E + F)	1,718,027,139
(H) 収益分配金	△ 455,870,946
次期繰越損益金(G + H)	1,262,156,193
追加信託差損益金	240,643,368
(配当等相当額)	(102,448,998)
(売買損益相当額)	(138,194,370)
分配準備積立金	1,021,525,632
繰越損益金	△ 12,807

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,169,319,969
(c) 収益調整金	240,643,368
(d) 分配準備積立金	308,076,609
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,718,039,946
(f) 分配金	455,870,946
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,262,169,000
(h) 受益権総口数	3,256,221,044口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	1,400円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・ 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・ 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・ 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド ーパラダイムシフトー）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年3月18日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年3月19日～2022年3月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年3月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2021年12月9日）

（作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

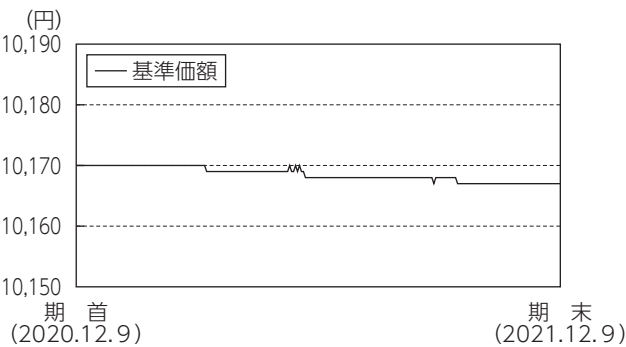
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2020年12月9日	10,170	—	—
12月末	10,170	0.0	—
2021年 1 月末	10,170	0.0	—
2 月末	10,170	0.0	—
3 月末	10,169	△0.0	—
4 月末	10,169	△0.0	—
5 月末	10,169	△0.0	—
6 月末	10,168	△0.0	—
7 月末	10,168	△0.0	—
8 月末	10,168	△0.0	—
9 月末	10,167	△0.0	—
10月末	10,167	△0.0	—
11月末	10,167	△0.0	—
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,170円 期末：10,167円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】
コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。
◆ポートフォリオについて
流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。
◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
国内短期社債等		110,997,998	111,997,992 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	6,782,301	100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目		当 期 末
(A) 資産		6,782,301,285円
コール・ローン等		6,782,301,285
(B) 負債		—
(C) 純資産総額(A－B)		6,782,301,285
元本		6,671,046,264
次期繰越損益金		111,255,021
(D) 受益権総口数		6,671,046,264口
1万口当り基準価額(C／D)		10,167円

* 期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225－シフト11－	2019－03 (適格機関投資家専用)	531,632,690円
ゴールド・ファンド (FOFs用)	(適格機関投資家専用)	1,965,311,641円
ターゲット・リターン (コスト控除後3%)	資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	129,833円
ターゲット・リターン (コスト控除後5%)	資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	160,914円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド	－A1新時代－ (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド	－A1新時代－ (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー	(為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー	(為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ／“RICI” [®] コモディティ・ファンド		2,074,249円
US債券NB戦略ファンド	(為替ヘッジあり／年1回決算型)	1,676円
US債券NB戦略ファンド	(為替ヘッジなし／年1回決算型)	1,330円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり／隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし／隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり／資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし／資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン		983円
世界セレクトティブ株式オープン	(年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり／毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし／毎月分配型)	983円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ		4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ／フィデリティ北米株ファンド	－パラダイムシフト－	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)		3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ		80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)		33,689円

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,353,364円
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	△ 30,929
(C) 当期損益金(A+B)	△ 6,384,293
(D) 前期繰越損益金	1,128,566,954
(E) 解約差損益金	△1,428,973,017
(F) 追加信託差損益金	418,045,377
(G) 合計(C+D+E+F)	111,255,021
次期繰越損益金(G)	111,255,021

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。
さて、「フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ(適格機関投資家専用)」は、
第9期決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

運用報告書
(全体版)

第9期(決算日 2022年2月18日)
計算期間(2021年2月19日～2022年2月18日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年3月21日から2023年3月16日まで
運用方針	●シェール革命の経済波及効果から期待される米国経済の変革に着目し、主に北米(米国およびカナダ)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式(DR(預託証券)を含みます。)を投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。北米以外の金融商品取引所に上場されている株式に投資することもあります。 ●相対的に高い業績拡大および株価の上昇が期待される銘柄を発掘します。 ●アナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトムアップ・アプローチ」を重視します。 ●株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 ●組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ●FILインベストメンツ・インターナショナルおよびFILインベストメント・マネジメント(オーストラリア)・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。 ●資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	主に北米(米国およびカナダ)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(原則2月18日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 ●分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社 カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 0120-00-8051 (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ
(適格機関投資家専用)

フィデリティ投信株式会社



■最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 等 株 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率			
5 期(2018年 2 月19日)	円 13,883	円 0	% △5.2	% 98.3	% —	百万円 8,706
6 期(2019年 2 月18日)	14,678	0	5.7	97.5	—	6,805
7 期(2020年 2 月18日)	16,251	0	10.7	97.2	—	5,856
8 期(2021年 2 月18日)	16,109	0	△0.9	98.3	—	4,365
9 期(2022年 2 月18日)	21,563	0	33.9	97.7	—	4,569

(注 1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークは設定しておりません。

(注 2) 株式先物比率＝買建比率－売建比率

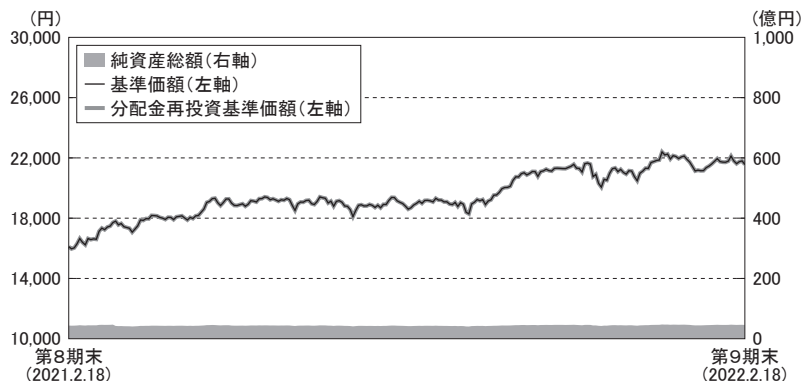
■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 等 株 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期 首) 2021年 2 月18日	円 16,109	% —	% 98.3	% —
2 月末	16,393	1.8	98.9	—
3 月末	17,969	11.5	97.8	—
4 月末	18,610	15.5	98.5	—
5 月末	19,131	18.8	96.0	—
6 月末	18,906	17.4	96.5	—
7 月末	18,912	17.4	97.9	—
8 月末	19,185	19.1	98.0	—
9 月末	19,234	19.4	99.1	—
10月末	21,091	30.9	99.3	—
11月末	20,901	29.7	98.4	—
12月末	21,830	35.5	98.2	—
2022年 1 月末	21,455	33.2	98.3	—
(期 末) 2022年 2 月18日	21,563	33.9	97.7	—

(注) 騰落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額等の推移



第9期首:16,109円

第9期末:21,563円(既払分配金0円)

騰落率:33.9%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、2021年2月18日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

●基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+33.9%でした。

当ファンドが主な投資対象とする業種(エネルギー、資本財・サービス、素材、公益事業)のうち当期は主にエネルギー及び資本財・サービスの銘柄の値動きがプラスに寄与しました。

個別銘柄で当期の騰落率に寄与した主なものは以下の通りです。

(プラス)

- ・コノフィリップス
- ・パイオニア・ナチュラル・リソースズ
- ・ダイヤモンドバック・エナジー

(マイナス)

- ・エクソンモービル
- ・エアプロダクツ・アンド・ケミカルズ
- ・EOGリソースズ

●投資環境

○北米株式相場

当期の米国株式市場は、上昇しました。過去最大規模の経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種進展に加え、景気回復の動きが続いたことなどが株式市場の回復を後押ししました。また、幅広い業種で堅調な企業業績の発表が相次いだことも投資家心理を下支えしました。個人消費支出は、その回復に勢いが増す中、概ねコロナ前の水準に戻る形となりました。2021年は概ね良好な経済指標が確認され、とりわけ雇用統計では労働市場の改善が続いたことも株式市場の上昇につながりました。しかし、2021年11月以降、新たな変異株である「オミクロン株」が出現し、各地で感染者数が再び増加し始めたことなどが投資家心理に影を落としました。また、米連邦準備制度理事会（FRB）が2022年中に計3回の政策金利の引き上げを行う見通しを示したことに加え、2022年1月以降、ウクライナを巡る地政学リスクが高まり、株価は急落しました。このような状況の下、業種別ではエネルギー、金融、不動産などが上昇した一方、コミュニケーション・サービスは下落しました。

○為替相場

当期の米ドル円為替相場は、今後日銀が超低金利政策を維持する一方で、FRBが着実に利上げを進めていくとの見方から円安が進みました。FRBの金融引き締め観測は、円安の主な要因となった、米国国債利回りの上昇による日米金利差の拡大をもたらしました。

●ポートフォリオ

当期末時点での組入業種は、比率の高い順に、資本財・サービス、エネルギー、公益事業、素材でした。また、当期における業種別組入比率の主な変更点は、エネルギー及び資本財・サービスのエクスポージャーを引き上げた一方で、公益事業及び素材を引き下げました。また、個別銘柄では、レイセオン・テクノロジーズ、CSX、FMCを新たに組み入れました。他方、アメリカン・ウォーター・ワークス、ロッキード・マーチン、ジェイコブズ・エンジニアリング・グループなどを売却しました。

●ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

■ 分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

● 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第9期	
	2021年2月19日～2022年2月18日	
当期分配金	0	
(対基準価額比率)	－％	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	11,562	

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

■ 今後の運用方針

引き続きエネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況に留意しつつ、確信度の高い独自のファンダメンタルズ調査を包括的に活用することで、長期的に良好なパフォーマンスが期待できるとの考えを堅持しています。独自の調査を行う前提には、企業ファンダメンタルズを把握することでマクロ経済全体の動向の予測よりも高い精度で個別企業の見通しを予想できるとの確信があります。当ファンドは基本的に、ボトムアップによる個別企業調査に基づき、確信度の高い銘柄からポートフォリオを構築しており、投資ユニバースの中で最も有望な投資アイデアを活用していく方針です。

■ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	2021年2月19日～2022年2月18日		
	金額	比率	
(a)信託報酬	133円	0.681%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は19,554円です。
（投信会社）	(129)	(0.660)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.002)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
（受託会社）	(4)	(0.019)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料 （株式）	2 (2)	0.010 (0.010)	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税 （株式）	0 (0)	0.000 (0.000)	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用	4	0.022	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(2)	(0.012)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
（その他）	(1)	(0.006)	その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	139	0.713	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2021年2月19日から2022年2月18日まで）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国		百株		百株	
	アメリカ	1,309.64 (342.93)	千アメリカ・ドル 8,572 (△70)	1,577.84	千アメリカ・ドル 15,684
	カナダ	126.03	千カナダ・ドル 650	1,766.28	千カナダ・ドル 3,737

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）（ ）内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	3,093,356千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	4,310,362千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.71

（注1）売買高比率は小数点以下2位未満切捨て。

（注2）期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。

（注3）期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。

（注4）外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末(決算日の属する月については決算日)の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■当期中の主要な売買銘柄

●株 式

当				期			
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	18.1	147,395	8,143	AMERICAN WATER WORKS CO INC	6.513	123,774	19,004
CSX CORP	32.861	125,250	3,811	LOCKHEED MARTIN CORP	3.158	123,075	38,972
EQUIFAX INC	5.031	92,471	18,380	JACOBS ENGINEERING GROUP INC	8.382	117,205	13,983
FMC CORP NEW	7.578	91,375	12,058	SHERWIN WILLIAMS CO	2.586	101,222	39,142
KBR INC	14.309	73,129	5,110	CONOCOPHILLIPS	15.297	97,066	6,345
BWX TECHNOLOGIES INC	11.377	69,852	6,139	FASTENAL CO	15.701	91,302	5,815
TRINET GROUP INC	7.609	69,845	9,179	CATERPILLAR INC	3.604	88,629	24,591
BROOKFIELD RENEWABLE PARTNERS	15.519	68,267	4,398	KANSAS CITY SOUTHERN	2.653	87,215	32,874
ALLEGION PLC	4.42	67,867	15,354	IVANHOE MINES LTD	102.053	86,267	845
FORTIS INC	9.799	42,503	4,337	MARATHON PETROLEUM CORP	11.937	76,324	6,393

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2021年2月19日から2022年2月18日まで）

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2022年2月18日現在）

外国株式

上場、登録株式

銘 柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ・・・NASDAQ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
FASTENAL CO	157.01	—	—	—	資本財
HUNT J B TRANSPORT SERVICES INC	29.39	—	—	—	運輸
DIAMONDBACK ENERGY INC	98.74	65.68	851	97,914	エネルギー
CONSTELLATION ENERGY CORP	—	67.1	303	34,932	公益事業
WOODWARD INC	71.18	62.99	757	87,054	資本財
(アメリカ・・・ニューヨーク証券取引所)					
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	48.94	43.31	1,042	119,787	素材
CMS ENERGY CORP	34.78	—	—	—	公益事業
CSX CORP	—	328.61	1,153	132,585	運輸
COTERRA ENERGY INC	106.23	315.06	718	82,536	エネルギー
CATERPILLAR INC	88.2	52.16	1,015	116,762	資本財
CROWN HOLDINGS INC	32.29	28.58	347	39,958	素材
ECOLAB INC	38.19	33.8	602	69,306	素材
EQUIFAX INC	—	39.43	835	96,088	商業・専門サービス
FMC CORP NEW	—	75.78	895	102,884	素材
GENERAL DYNAMICS CORPORATION	51.63	45.69	979	112,604	資本財
WW GRAINGER INC	23.34	13.61	641	73,744	資本財
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	83.82	—	—	—	商業・専門サービス
LOCKHEED MARTIN CORP	31.58	—	—	—	資本財
NORFOLK SOUTHERN CORP	56.77	50.24	1,372	157,792	運輸
OSHKOSH CORP	83.66	27.76	314	36,109	資本財
SHERWIN WILLIAMS CO	13.88	12.58	336	38,641	素材
UNION PACIFIC CORP	75.43	66.76	1,675	192,611	運輸
RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	—	160.18	1,511	173,742	資本財
VULCAN MATERIALS CO	15.56	—	—	—	素材
FEDEX CORP	37.04	32.78	735	84,543	運輸
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	83.55	69.09	1,589	182,766	エネルギー
HONEYWELL INTL INC	30.39	26.9	496	57,078	資本財
KANSAS CITY SOUTHERN	34.33	—	—	—	運輸
EXELON CORP	276.63	201.32	840	96,616	公益事業
CHEVRON CORP	243.44	187.08	2,499	287,326	エネルギー
CONOCOPHILLIPS	355.92	202.95	1,850	212,668	エネルギー
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	—	50.93	388	44,604	素材
JOHNSON CONTROLS INTERNATL PLC	168	65.93	433	49,882	資本財
KBR INC	—	143.09	627	72,075	商業・専門サービス
INSPERITY INC	28.57	25.28	228	26,220	商業・専門サービス
NEXTERA ENERGY INC	237.31	188.24	1,418	163,108	公益事業
MARATHON PETROLEUM CORP	299.07	179.7	1,382	158,972	エネルギー

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）

銘 柄		期首（前期末）	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ALLEGION PLC		—	44.2	506	58,220	資本財
TRINET GROUP INC		—	67.34	590	67,917	商業・専門サービス
ALLISON TRANSMISSION HLDGS INC		239.26	211.75	866	99,577	資本財
WEC ENERGY GROUP INC		22.75	—	—	—	公益事業
BWX TECHNOLOGIES INC		—	113.77	506	58,170	資本財
TRANSUNION		76.72	90.58	890	102,351	商業・専門サービス
ITT INC		97.87	86.61	764	87,830	資本財
CANADIAN PACIFIC RAIL LTD (US)		—	22.49	165	18,970	運輸
BAKER HUGHES CO		387.97	343.35	1,010	116,154	エネルギー
DUPONT DE NEMOURS INC		26.12	—	—	—	素材
BROOKFIELD RENEWABLE PARTNERS		—	155.19	531	61,116	公益事業
AMERICAN WATER WORKS CO INC		65.13	—	—	—	公益事業
ARMSTRONG WORLD INDUSTRIES INC		—	25.27	241	27,740	資本財
CIMAREX ENERGY CO		88.68	—	—	—	エネルギー
ROPER TECHNOLOGIES INC		18.93	25.24	1,105	127,133	資本財
KNIGHT-SWIFT TRANSPORTATION HO		133.63	118.26	634	72,972	運輸
小 計	株 数 、 金 額	4,091.93	4,166.66	35,659	4,099,079	
	銘 柄 数 <比 率>	40銘柄	42銘柄	—	<89.7%>	
(カナダ・・・トロント)		百株	百株	千カナダ・ドル	千円	
BARRICK GOLD CORP		282.8	—	—	—	素材
CCL INDUSTRIES INC - CL B		75.74	67.03	428	38,760	素材
WEST FRASER TIMBER LTD		74.54	—	—	—	素材
EMERA INC		112.29	127.42	747	67,622	公益事業
FORTIS INC		113.07	186.79	1,080	97,661	公益事業
SUNCOR ENERGY INC		436.1	385.95	1,454	131,479	エネルギー
HYDRO ONE LIMITED		292.37	—	—	—	公益事業
IVANHOE MINES LTD		1,312.28	291.75	334	30,228	素材
小 計	株 数 、 金 額	2,699.19	1,058.94	4,045	365,752	
	銘 柄 数 <比 率>	8銘柄	5銘柄	—	<8.0%>	
合 計	株 数 、 金 額	6,791.12	5,225.6	—	4,464,832	
	銘 柄 数 <比 率>	48銘柄	47銘柄	—	<97.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2022年 2 月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 4, 464, 832	% 97. 4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	120, 051	2. 6
投 資 信 託 財 産 総 額	4, 584, 884	100. 0

(注 1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、2月18日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝114. 95円、1 カナダ・ドル＝90. 41円です。
(注 2) 当期末における外貨建資産(4, 569, 331千円)の投資信託財産総額(4, 584, 884千円)に対する比率は、99. 7%です。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年 2 月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	4, 586, 182, 565
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	111, 987, 465
株 式(評価額)	4, 464, 832, 783
未 収 入 金	1, 302, 832
未 収 配 当 金	8, 059, 485
(B) 負 債	16, 687, 451
未 払 金	1, 301, 780
未 払 信 託 報 酬	15, 263, 979
そ の 他 未 払 費 用	121, 692
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	4, 569, 495, 114
元 本	2, 119, 185, 848
次 期 繰 越 損 益 金	2, 450, 309, 266
(D) 受 益 権 総 口 数	2, 119, 185, 848口
1 万口当り基準価額(C／D)	21. 563円

(注 1) 当期における期首元本額2, 709, 627, 030円、期中追加設定元本額25, 058, 308円、期中一部解約元本額615, 499, 490円です。
(注 2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の 6 第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2021年 2 月19日 至2022年 2 月18日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	77, 715, 585
受 取 配 当 金	77, 706, 783
受 取 利 息	4, 380
そ の 他 収 益 金	4, 422
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1, 095, 210, 757
売 益	1, 292, 024, 371
売 買 損	△196, 813, 614
(C) 信 託 報 酬 等	△30, 936, 047
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	1, 141, 990, 295
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1, 192, 597, 342
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	115, 721, 629
(配 当 等 相 当 額)	(89, 835, 042)
(売 買 損 益 相 当 額)	(25, 886, 587)
(G) 合 計(D＋E＋F)	2, 450, 309, 266
次 期 繰 越 損 益 金(G)	2, 450, 309, 266
追 加 信 託 差 損 益 金	115, 721, 629
(配 当 等 相 当 額)	(89, 835, 042)
(売 買 損 益 相 当 額)	(25, 886, 587)
分 配 準 備 積 立 金	2, 334, 587, 637

(注 1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注 2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注 3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注 4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、純資産総額に対して年0. 32%以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
(注 5) 分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 費用控除後の配当等収益	75, 664, 525円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	991, 557, 204円
(c) 収益調整金	115, 721, 629円
(d) 分配準備積立金	1, 267, 365, 908円
(e) 分配可能額(a＋b＋c＋d)	2, 450, 309, 266円
1 万口当たり分配可能額	11, 562. 50円
(f) 分配金額	0円
1 万口当たり分配金額(税引前)	0円